

委託事業実施内容報告書

平成21年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語教室の設置運営】

受託団体名 多文化共生センター東京

1 事業の趣旨・目的

国際結婚等で来日する外国人親は日本語をきちんと学習する機会がほとんどなく、生活から日本語を覚えていく。しかし、読み書きが出来ない親が多く、学校のプリントが読めない、仕事がみつからないなど様々な困難に遭遇する。地域ともつながりが少なく、頼れる人もいない中、日本語が親よりも上手な子どもを頼りきってしまうこともある。

一方、日本生まれや低学年で来日した子どもは日本語が母語となることから、親子の間に言葉の壁ができ、思春期に差し掛かると言葉の壁からこころの壁も高くなりがちである。

本講座では、乳幼児から小学生の子どもを抱えた外国出身の親と子ども、地域住民が日本語を通して交流することで、孤立しがちな外国人親子が地域社会へ参画できるようにする。

2 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	出席者	議題	会議の概要
2009 年 9 月 26 日	王慧瑾 (多文化共生センター代表) 田中阿貴 (多文化共生センター東京理事 事務局長) 柴山智帆 (多文化共生センター東京理事) 田所希衣子 (乳幼児を連れた学習者 etc.に 開かれた日本語教室を考える会 外国人の子ども・サポートの会) 石原弘子 (にほんごの会くれよん) 小林普子 (NPO 法人みんなのおうち)	1. 「親子日本語クラス」の 趣旨・目的等概要 説明 2. 7 月からスタートした 現在の状況報告 3. 今後に向けての意見 交換	「親子日本語クラス」の概要を 説明後、7月からスタートした現在の 状況報告を行なった。良い点 は継続して学習する学習者が定 着してきたこと、学習者同士が教 室で知り合い交流していること、 日本語のレベルが違った友達と の会話の中で新しい言葉を自然 に学んでいることなど。 課題は地域の子育て経験のある ボランティアがしていることと地 域に多く在住しているはずの非 漢字圏の学習者が少ないことな ど。 また、今後についての意見交 換を行った。運営委員から荒川

2009 年 9 月 26 日 (続き)	鈴木訪子 (荒川社会福祉協議会管理課 事業係課長) 加藤知子 (主婦) 原島メイ (在日フィリピン人) 李原翔 (東京学芸大学大学院連合学校 教育学研究科博士課程在 中国人) 渡辺ナタニー (在日タイ人)		社会福祉協議会と協働でボラン ティア説明会をしたらどうか、日 本語教授法について学習者とと もにつくっていってみてはどうか、 などの助言を頂いた。
2010 年 1 月 16 日	王慧謹 (多文化共生センター代表) 柴山智帆 (多文化共生センター東京理事) 田所希衣子 (乳幼児を連れた学習者 etc.に開 かれた日本語教室を考える会外 国人の子ども・サポートの会) 石原弘子 (にほんごの会くれよん) 小林普子 (NPO 法人みんなのおうち) 鈴木訪子 (荒川社会福祉協議会管理課事 業係課長) 加藤知子 (主婦) 原島メイ (在日フィリピン人) 李原翔 (東京学芸大学大学院連合学校 教育学研究科博士課程在日中国 人) 青木智弘 (多文化共生センター事務局員) 岡美織 (多文化共生センター事務局員)	1. 活動報告 2. 今後についての意見 交換	第1回運営委員会以降の活動 報告を行なった。主に子どもクラ スの運営や親子の連携のあり 方、新規参加者募集について。 その後、多文化共生センターの 他事業(多文化フリースクール 等)との連携のあり方、地域のニ ーズを拾う場としての教室のあり 方、ボランティアのスキルアップ の必要性などについて話し合っ た。

2010 年 3 月 13 日	柴山智帆 (多文化共生センター東京理事) 石原弘子 (にほんごの会くれよん) 小林普子 (NPO 法人みんなのおうち) 鈴木訪子 (荒川社会福祉協議会管理課事業係課長) 加藤知子 (主婦) 風間晃 (多文化共生センター東京理事) 岡 (多文化共生センター事務局員)	①活動報告(田中博文君の様子、ちらし配りなど)、 ②来年度に向けての方向性共有と助言頂戴	第2回運営委員会以降の活動報告を行なった。子どもクラスの形態変更、家庭内事情の勘案、新規参加者募集など。 その後、「地域団体との連携強化」、「地域住民のニーズ掘り起こし」、「ボランティア体制の強化」など来年度に向けての方向性を共有した。荒川社会福祉協議会との具体的連携案も出た。
--------------------	---	---	--

3 日本語教室の開催について

- ① 日本語教室の名称:親子日本語クラス
- ② 開催場所:旧真土小学校 3 階(多文化共生センター東京)
- ③ 学習目標:生活に必要な会話や漢字の読み書きなどを親子共々ボランティアと一緒に楽しく学ぶ。
- ④ 使用した教材・リソース:「みんなの日本語」、「新文化初級日本語」、朝日小学生新聞、スーパーのちらし、子どもの学校教材、絵本、すごろくなど
- ⑤ 受講者の募集方法:当センター「外国人親のための日本語スキルアップ講座」受講者へのロコミ、当センター会員向けチラシ送付、多文化フリースクール生の親へのチラシ送付、教育相談時のチラシ配布、エスニックコミュニティ(タイ寺院、食材屋)へのチラシ配布、キーパーソンへのロコミ
- ⑥ 受講者の総数 23 人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)
- ⑦ 開催時間数(回数) 74 時間 (全 35 回)
- ⑧ 日本語教室の具体的内容

回	開催日時	時間数	参加人数	国籍・母語(人)	教授者・補助者人数	内容
1	7 月 4 日 13:00～15:00	2 時間	7 人	中国 中国語 4 人 台湾 中国語 3 人	9 人	自己紹介、子どもの学校について、折り紙
2	7 月 11 日 13:00～15:00	2 時間	7 人	中国 中国語 4 人 台湾 中国語 3 人	7 人	「みんなの日本語」、「絵入り日本語作文入門」、会話、ロールプレイ、学校の宿題
3	7 月 18 日	2 時間	11 人	中国 中国語 8 人	10 人	「みんなの日本語」、「絵入り

	13:00～15:00			台湾 中国語 3 人		日本語作文入門」、会話
4	7 月 25 日 13:00～15:00	2 時間	10 人	中国 中国語 6 人 台湾 中国語 3 人 韓国 韓国語 1 人	10 人	多言語色オニ、絵本、「新文化初級日本語」、朝日中学生新聞
5	8 月 1 日 13:00～15:00	2 時間	12 人	中国 中国語 2 人 台湾 中国語 4 人 韓国 韓国語 6 人	12 人	「新文化初級日本語」、「日本語学級」、お店やさんカード
6	8 月 8 日 13:00～15:00	2 時間	9 人	中国 中国語 7 人 台湾 中国語 2 人	4 人	「ひろこさんのたのしい日本語1」、「日本語学級」、書き取り練習ノート
7	8 月 22 日 13:00～15:00	2 時間	8 人	中国 中国語 7 人 台湾 中国語 2 人	9 人	「新文化初級日本語」、自由会話(防災、家賃)、絵本
8	8 月 29 日 13:00～15:00	2 時間	11 人	中国 中国語 9 人 韓国 韓国語 2 人	10 人	すいか割り、「にほんごを学ぼう」、会話(病院、携帯契約変更など)
9	9 月 5 日 13:00～15:00	2 時間	5 人	中国 中国語 3 人 韓国 韓国語 2 人	7 人	「新文化初級日本語」、絵本
10	9 月 12 日 13:00～15:00	2 時間	8 人	中国 中国語 3 人 台湾 中国語 3 人 韓国 韓国語 2 人	5 人	「新文化初級日本語」、「かんじだいすき」、自由会話、学校のプリント、絵本など
11	9 月 19 日 13:00～15:00	2 時間	9 人	中国 中国語 4 人 台湾 中国語 3 人 韓国 韓国語 1 人	5 人	「新文化初級日本語」、「かんじだいすき」、「みんなの日本語」、会話、学校のプリント、絵本など
12	9 月 26 日 13:00～15:00	2 時間	6 人	中国 中国語 3 人 台湾 中国語 1 人 韓国 韓国語 2 人	5 人	「新文化初級日本語」、「かんじだいすき」、「みんなの日本語」、会話、学校のプリント、絵本など
13	10 月 3 日 13:00～15:00	2 時間	6 人	中国 中国語 3 人 台湾 中国語 2 人 フィリピン タガログ語 1 人	4 人	「新文化初級日本語」、「かんじだいすき」、「みんなの日本語」、会話、学校のプリント、絵本など
14	10 月 10 日 13:00～15:00	2 時間	6 人	中国 中国語 4 人 韓国 韓国語 2 人	6 人	「新文化初級日本語」、「かんじだいすき」、「みんなの日本語」、会話、学校のプリント、絵本など

15	10月17日 13:00～15:00	2時間	6人	中国 中国語4人 韓国 韓国語2人	6人	「新文化初級日本語」、「かんじだいすき」、「みんなの日本語」、会話、学校のプリント、絵本など
16	10月24日 13:00～15:00	2時間	6人	中国 中国語2人 台湾 中国語2人 韓国 韓国語2人	6人	「新文化初級日本語」、「かんじだいすき」、「みんなの日本語」、会話、学校のプリント、絵本など
17	10月31日 13:00～15:00	2時間	2人	韓国 韓国語2人	8人	ひらがな伝言ゲーム、「新文化初級日本語」、「かんじだいすき」、「みんなの日本語」、会話、学校のプリント、絵本
18	11月7日 13:00～15:00	2時間	8人	中国 中国語3人 台湾 中国語2人 韓国 韓国語3人	5人	日本地図かるた、「新文化初級日本語」、「かんじだいすき」、「みんなの日本語」、会話、学校のプリント、絵本
19	11月14日 13:00～15:00	2時間	3人	中国 中国語2人 韓国 韓国語1人	8人	、ひらがなクロスワードパズル、「新文化初級日本語」、「かんじだいすき」、「みんなの日本語」、会話、学校のプリント、絵本
20	11月21日 13:00～15:00	2時間	6人	中国 中国語2人 台湾 中国語2人 韓国 韓国語2人	8人	ジェスチャーゲーム、「新文化初級日本語」、「かんじだいすき」、「みんなの日本語」、会話、学校のプリント、絵本
21	11月28日 13:00～15:00	2時間	6人	中国 中国語2人 台湾 中国語2人 韓国 韓国語2人	10人	フルーツバスケット、「みんなのほんご」、会話、学校のドリル
22	12月5日 13:00～15:00	2時間	7人	中国 中国語2人 台湾 中国語2人 韓国 韓国語3人	6人	動物当てゲーム、「新文化初級日本語」、「かんじだいすき」、「みんなの日本語」、会話、学校のプリント、絵本
23	12月12日 13:00～15:00	2時間	5人	中国 中国語3人 韓国 韓国語2人	9人	単語出しゲーム、「新文化初級日本語」、「かんじだいすき」、「みんなの日本語」、会話、学校のプリント、絵本

24	12月19日 13:00～15:00	2時間	15人	中国 中国語8人 台湾 中国語3人 韓国 韓国語4人	13人	クリスマス会、紙芝居
25	1月9日 13:00～15:00	2時間	4人	中国 中国語2人 韓国 韓国語2人	8人	正月の紹介、他己紹介、「新文化初級日本語」、「かんじだいすき」、「みんなの日本語」、会話、学校のプリント、絵本
26	1月16日 13:00～15:00	2時間	3人	台湾 中国語1人 韓国 韓国語2人	6人	動物当てゲーム、「新文化初級日本語」、「かんじだいすき」、「みんなの日本語」、会話、学校のプリント、絵本
27	1月23日 13:00～15:00	2時間	6人	中国 中国語1人 台湾 中国語2人 韓国 韓国語3人	7人	動物当てゲーム、「新文化初級日本語」、「かんじだいすき」、「みんなの日本語」、会話、学校のプリント、絵本
28	1月30日 13:00～15:00	2時間	7人	中国 中国語2人 台湾 中国語2人 韓国 韓国語3人	8人	すごろく、「新文化初級日本語」、「かんじだいすき」、「みんなの日本語」、会話、学校のプリント、絵本
29	2月6日 13:00～15:00	2時間	5人	台湾 中国語2人 韓国 韓国語3人		「新文化初級日本語」、「かんじだいすき」、「みんなの日本語」、会話、学校のプリント、絵本
30	2月13日 13:00～15:00	2時間	2人	韓国 韓国語2人	7人	「新文化初級日本語」、「かんじだいすき」、「みんなの日本語」、会話、学校のプリント、絵本
31	2月20日 13:00～15:00	2時間	5人	中国 中国語1人 台湾 中国語1人 韓国 韓国語3人	5人	紙芝居、「新文化初級日本語」、「かんじだいすき」、「みんなの日本語」、会話、学校のプリント、絵本
32	2月27日 13:00～15:00	2時間	4人	中国 中国語2人 韓国 韓国語2人	6人	「新文化初級日本語」、「かんじだいすき」、「みんなの日本語」、会話、学校のプリント、絵本

33	3月6日 13:00～15:00	2時間	8人	韓国 韓国語 8人	7人	韓国料理パーティー
34	3月20日 13:00～15:00	2時間	9人	中国 中国語 1人 台湾 中国語 1人 韓国 韓国語 5人 フィリピン タガログ語 2人	5人	「新文化初級日本語」、「かんじだいすき」、「みんなの日本語」、会話、学校のプリント、絵本
35	3月27日 13:00～15:00	6時間	1人	韓国 韓国語 1人	5人	荒川区多文化ユースフェスタ韓国料理屋台出店

⑨ 特徴的な授業風景(2～3回分)

11月28日

- ・ 参加者 学習者 6名(大人クラス5名、子どもクラス1名)
支援者 10名

・ 内容

13:00～14:30 個別学習
14:30～15:00 交流タイム

・ 詳細

個別学習

ペア	学習内容
〔親〕 金英蘭(韓国)ー金ソナ	みんなの日本語を使って「～していただけますか?」言い方の練習。漢字も勉強。
〔親〕 朴 石淳(韓国)ー杉山	日常会話 みんなの日本語 2級 26課
〔親〕 李紅莉(中国)ー風間	1時間中たっぷり会話練習。 仕事の事、買い物の事、家庭の事など。
〔親〕 巫詩雯(台湾)ー福田	みんなの日本語初級Ⅰ 第14課。 仕事で使える表現を意識して熱心に学習。
〔親〕 張曉芳(中国)ー小辻	会話中心で新しい単語をその都度メモ。 中国の故郷の話や息子の学校のことなど。
〔子〕 徐裕二(台湾)ー込山	学校の宿題(漢字・算数ドリル) 豊かな読解力がつく国語プリント p60,61

交流タイム

〈フルーツバスケット〉

方法:フルーツは使わずに、「スカートをはいている人」や「朝ごはんを食べた人」など
特徴や経験の有無に該当した人は立ち上がってイスを移動する。
最初は例文を提示するが、後半は自分で内容を考える。

目的:ゲームを楽しみながら名詞の修飾文の勉強をする。

結果:たいへん盛り上がった。最初に勉強した名詞修飾文のつくり方を応用でき、また、該当していることに気づかない学習者には他の学習者が指摘するなど交流としても成功した。



1月 23 日

- ・ 参加者 学習者 6 名 (大人クラス 4 名、子どもクラス 2 名)
支援者 7 名

- ・ 内容

13:00～14:30 個別学習
14:30～15:00 交流タイム

- ・ 詳細

個別学習

ペア	学習内容
〔親〕金英蘭(韓国)－杉山	新文化初級日本語 I かんじだいすき(二)P22～P36
〔親〕巫詩雯(台湾)－柴山	みんなの日本語 I ～ます形、～て形の動詞変換。助詞の勉強
〔親〕査偉(中国)－風間	本人手作りの教材(基本的なあいさつ文など)を使って会話練習
〔親〕高木忠順－横田	2年生の漢字160字マスタープリント 漢字の書き取りと読み
〔子〕徐裕二－込山	学校の宿題(漢字ドリル) 台湾の食べ物について。ガイドブックを見ながら、「台湾ではどういうときに食べる」などと説明。

〔子〕田中ひろふみー荒木	算数の教科書を使って、三角形、四角形の勉強。 お母さんが40分間そばについて中国語で言葉の説明。お母さんに甘えず机に座って勉強できた。
--------------	--

交流タイム

〈動詞あてゲーム〉

方法: 支援者が提示した「身につけるもの」(帽子やメガネ、服など)にたいして、
該当する動詞をあてるゲーム

目的: 「着る」「履く」「かける」「つける」「かぶる」など、
細かく分かれている日本語の身につける動詞を学習。

結果: 最初は当てずっぽうで答えていたが、「どうして?」と考えるうちに、足をとおすものは
「履く」、頭にのせるものは「かぶる」など、カテゴリーにわけてイメージすることができ
た。



その他イベントなど

・6月27日-ボランティアスタッフ研修会

講師: にほんごの会くれよん 石原弘子 塚崎美津子

参加人数: 8人

目的: 多文化共生センター東京では、親子を対象とする日本語教室を初めて開催するため、先輩格である「にほんごの会くれよん」より講師をお招きし、教室開催や運営について、ノウハウなどを学んだ。



・8月29日-すいか割り

参加人数: 21人

内容: 交流会後に校庭にて親子、ボランティア共々すいか割りをした。

目的: 日本文化に親しむためにだんはなかなか自由に話すことのない違う出身国の学習者同士が自然に交流できること。また、友達も誘って来てもらうことで教室の宣伝も兼ねた。



・12月19日－クリスマス会

参加人数:28人

内容:それぞれの国の料理をつくって持ち寄り歓談。自己紹介ゲームやジェスチャーゲームをして盛り上がった。

目的:ふだんはなかなか自由に話すことのない違う出身国の学習者同士が自然に交流できること。また、友達も誘って来てもらうことで教室の宣伝も兼ねた。



・2月20日－紙芝居

参加人数:10人

内容:演劇サークル「ほっとはーと」による紙芝居上映。演目は「ももたろう」と、「どんどん きらきら」、動物たちが登場し、学習者とのクイズ形式で進めた。

目的:会話形式以外の日本語に触れるとともに、支援者以外の人とのコミュニケーションを図ることができる。



・3月6日ー韓国料理パーティー

参加人数:15人

内容:韓国出身の学習者が韓国料理をつくってみんなで食べる。料理の作り方を教わるとともに、韓国についてのクイズなども行ない、理解を深めた。

目的:お互いの国の食や文化を知ること、参加者の相互理解につなげる。

⑩ 活用した日系人等(日本語を母語としない)の名簿

氏名	母語(国籍)	来日年(日)数	参加回数	当該教室での役割
金ソナ	韓国語(韓国)	日本生まれ	11回	学習補助、通訳
張赫	中国語(中国)	14年	6回	学習補助、通訳
洪在賢	韓国語(韓国)	3年	10回	翻訳、事務作業
原島メイ	タガログ語(フィリピン)	15年	3回	運営委員
李原翔	中国語(中国)	10年	3回	運営委員

⑪ 支援者の名簿(⑦以外)

氏名	所属	専門分野及び日本語教育に関する資格	参加回数	当該教室での役割
風間晃	当センター理事 本務外	生活相談、 子ども指導	27回	アドバイザー・ 学習補助
柴山智帆	当センター理事 本務外	親子プログラム、 子育て相談	29回	アドバイザー・ 学習補助
込山華代子	主婦	子ども指導	22回	学習補助(子ども)
中野真紀子	会社員	日本語教員養成課程 420時間修了	19回	日本語指導アドバイザー・ 学習補助
村田厚子	主婦	子育て相談	13回	子育てアドバイザー・ 学習補助
荒木正子	主婦	子ども指導	15回	学習補助(子ども)
加藤知子	主婦	親子プログラム、 悩み相談	16回	悩み相談アドバイザー・ 学習補助
多田佳明	会社員	広報	15回	広報アドバイザー・ 学習補助
福田和久	当センター理事	生活相談	17回	学習補助
小辻尚子	主婦	子育て相談	8回	学習補助
杉山力	会社員	生活相談	8回	学習補助
小倉千恵子	主婦	生活相談	1回	学習補助
野島直子	日本語教員	日本語教員養成 課程 420時間修了	2回	日本語指導アドバイザー・ 学習補助

田中阿貴	当センター 事務局長	中学・高校教員免許	11 回	生活相談アドバイザー・ 学習補助
------	---------------	-----------	------	---------------------

4 事業に対する評価について

① 当初の学習目標の達成状況

当初の学習目標はボランティアと日本語で交流をしながら、日常生活に必要な会話、読み書きの習得を目指すこと。学習者、ボランティアともに学習の中で子育てや生活上の疑問を共有したり、ゲームなどを通し、日本や学習者の母国の文化習慣を学ぶことができた。また、学習者が自国の料理を持参してパーティーを開くなど、ボランティアと学習者の交流をふかめることができた。

② 学習者の習得状況

初級 当初基本的なあいさつレベルしかできなかった学習者が、身の回りの出来事を基本的な事柄については表現できるようになった

中級 日常会話については、問題なくこなせるようになったが、助詞や、時制については、文法上の誤りがみうけられる。週 1 回での学習では、限度があるため、学習者の意識、学習意欲を高めるための工夫が今後の課題である。

③ 日本語教室設置運営の効果、成果

平日はまったく日本語に接する機会のない学習者が、気軽に日常生活上の疑問点や、個々が抱えている問題を共有できる場をつくることができた。日本語学習意欲のなかった小学校低学年の児童については、母親とともに勉強するやり方をとったところ、集中して勉強するようになった。母親と一緒に子どもの得意科目を日本語で学び、場合によっては母親が母語で補助をするという工夫によって学習意欲が増した。多文化共生センターでは小学校低学年の年少者の日本語教育について経験がなかったため、小学校低学年についての授業での時間配分、教材作りの工夫など、新しい学びも多かった。

④ 地域の関係者との連携による効果、成果 等

当団体が所在する荒川区の荒川区社会福祉協議会との連携を確立することができた。地域の演劇サークルボランティアを紹介してもらい、学習者に日本の紙芝居を実演してもらうなど、具体的な活動につながっている。

⑤ 改善点、今後の課題について(具体的に記述する。)

- a. **現状** 初年度の活動を終え、ボランティアベースで運営がまわるようになってきた。荒川区ボランティア団体「ほっとはーと」と親子日本語クラスにて紙芝居交流をしたり、生活や子育てに必要な日本語を地域住民(ボランティア)と外国につながりのある親子と一緒に学んだりしている。また、子どもの教育や生活の悩みについて話し合う場となっている。今後引き続き参加外国人が主体となって、日本・母国の仲間と交流することにより「居場所作り」と「多文化子育て」を応援する
- b. **今後の課題** 今年度は立ち上げ初年度だったため試行錯誤の時期となった。親・子クラスともに活動は充実していたが、親子と一緒に学ぶことも必要という認識をもつに至った。来年度は小学校低学年の子どもたちの教授方法については、大学研究者の教育研究も踏まえ、実践する必要がある。また、荒川区在住ボランティアへの声かけ、中国・台湾・韓国以外の国からの学習者集めを積極的

に行なう必要がある。

- c. **今後の活動予定、展望** 事業開始2年目は活動運営ができるボランティアを育成拡充し、更なる自立化を図る。また、地域外国人参加者の定着を通じ、地域外国人コミュニティへアプローチできる体制を作り、双方向の学びあいの場を目指す。来年度はカリキュラムの編成を行い、親子一緒に勉強する時間を設けると同時に学校との連携、家庭学習の手伝いをも視野に入れていく。今年度も引き続き向上を図りたい。

⑥ その他参考資料: ボランティアスタッフ研修会(6月27日)での配布資料

2009/6/27

「親子日本語教室」ボランティア勉強会

ともに学べる日本語教室のあり方を考える

～教える(日本人)－ 教えられる(外国人)の関係を越えて～

にほんごの会くれよん 石原弘子 塚崎美津子

1) 毎週おこなっている歌などの紹介

2) 石原自己紹介

3) 活動経過

1999 年 12 月 スタート

2002 年 4 月 多言語育児情報誌「目黒でたのしく子育てを」発行

2003 年 4 月 区役所別館子ども家庭支援センターでの「子どもといっしょ活動」開始

2006 年 2 月 多言語絵本の会 RAINBOW 開始

2006 年 7 月～2007 年 3 月 文化庁委嘱事業「絵本をつかった日本語クラス」

2008 年 4 月～2009 年 3 月 目黒区との協働事業「外国人親子の絵本とのはじめての出会い事業」

2009 年 7 月～ 目黒区との協働事業「在住外国人と小学生の国際交流事業」

2006 年、2007 年、2008 年の 3 回 目黒区国際交流協会主催「国際交流フェスティバル」に協力

4) 対等な関係をめざして

先生と呼ばない

参加ごと全員 100 円

地域活動への参加

5) 問題点

親子同室であることのプラスとマイナス

日本人の中にある「みんな なかよく」「平等に」意識

日本語教室に対等な関係は成立するか

料理教室にみる異文化

※写真は、肖像権等に配慮し、差し支えないものを添付すること。